

■ G I G Aスクール・金沢市デジタル戦略の進捗について主な意見

(全体)

- ・教員の負担軽減はかる支援策を検討すべき
- ・教員間の I Tリテラシーによる生徒の学習差に配慮すべき
- ・進捗管理等は教員に負担をかけず、デジタルを活用して行うべき
- ・生徒の自宅での学習（通信）環境整備への支援が必要
- ・進捗が早い生徒を伸ばす仕組みを検討すべき

- ・地域社会のデジタル化は、市民団体と協力して進める仕組み作りが必要
- ・関係人口の創出拡大について、ソフト面（人を呼び込む仕組み）を検討すべき
- ・スタートアップの対象は I T以外（リアルテック等）にも拡大すべき

(都市 O S について)

- ・ G I G Aスクール導入により現場の教育の負担は増加している。教員に対する働き方改革や I Tリテラシー向上等の支援をすべき。
- ・ネットワークの分離については、国が見直しに向けた資料等出しているのので、そういったことも注視して段階的に環境整備にも取り組んでいくべき。
- ・石川県では、県内 I T企業退職者等の人材バンクを先生のサポート役として活用するという話もある。そのような制度も検討してはどうか。
- ・教員間の I Tリテラシー差により、学ぶ生徒にも差が出る可能性があるのので、配慮すべき
- ・現場の教員に負担をかけず、デジタルを活用して機器の利用統計などを行うべき
- ・生徒の自宅での学習環境（通信環境）整備の支援が必要
- ・進捗が遅い子に授業を合わせるのは重要だが、進捗が早い子を伸ばす仕組みも併せて必要

(市の D X 取組について)

- ・デジタル戦略の対象 98 事業は市全体事業でみるとどのくらいなのか、
- ・地域社会のデジタル化は、市民団体と協力して進める仕組み作りが必要
- ・関係人口の創出拡大について、現状は支援や補助の面ばかりなので、ソフト面（人を呼び込む施策）も検討すべき
- ・企業支援のスタートアップの対象は I T以外（リアルテック等）にも拡大すべき
- ・デジタル戦略の「完了」という文言は変更すべき